

## 28年3月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年3月1日～ 28年3月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
3月分の回答企業数は12社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 27.3	△ 22.7	△ 27.3
	マツ	△ 31.8	△ 27.3	△ 31.8
	広葉樹	△ 20.8	△ 25.0	△ 27.3
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 30.0
	マツ	△ 25.0	△ 20.0	△ 20.0
	広葉樹	△ 18.2	△ 18.2	△ 18.2
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 5.0	△ 20.0	△ 15.0
	マツ	△ 30.0	△ 40.0	△ 33.3
	広葉樹	△ 27.3	△ 31.8	△ 31.8

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は、全品目で3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	28/3月	4月	5月
スギ・ヒノキ	10.0	15.0	15.0
マツ類	4.2	8.3	4.2
広葉樹	0.0	4.2	4.2

・チップ用国産原木の購入価格は、スギ・ヒノキはやや強含みで推移。マツ類及び広葉樹は横総じて保合。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・スギ・ヒノキの仕入はシステム販売が終了とともに減少、広葉樹は天候の安定で増加の傾向（東北）。
- ・3月は森林組合の現場からの原木搬入が見込まれる。製紙会社、発電共に需要は堅調に推移。在庫は少ない状況で推移（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・天候の影響も少なく横ばいの仕入。製紙会社のチップ制限にてスギ、ヒノキ消費減。バイオマス安定（四国）。
- ・針葉樹、広葉樹共に変わらずに入荷。全樹種安定的に出荷。これまでの在庫過剰を解消しつつも、スギ、一般材、間伐材共入荷が多く、今月は在庫増。来月から出荷も増えるので、在庫調整がされていく（九州）。
- ・広葉樹チップを仕入状況に応じて生産（九州）。

## (原木価格)

- ・燃料チップ用の針葉樹の価格上昇気味、それにつられ広葉樹も上昇（東北）。
- ・価格変動の動きなし（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・しばらくは現価格で仕入れる。他社の高値には追従できない。よって、他地域にかなりの材が移動している（九州）。

## 28年3月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/3月	4月	5月
生産動向	スギ・ヒノキ	0.0	△ 5.0	△ 22.2
	マツ類	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0
	広葉樹	△ 16.7	△ 20.8	△ 18.2
出荷動向	スギ・ヒノキ	△ 11.1	△ 16.7	△ 16.7
	マツ類	△ 25.0	△ 20.0	△ 20.0
	広葉樹	△ 9.1	△ 9.1	△ 9.1
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 16.7	△ 22.2	△ 22.2
	マツ類	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	広葉樹	△ 30.0	△ 35.0	△ 35.0

・スギ・ヒノキのチップ生産は3月の横ばいが、4月、5月は減少。マツ類及び広葉樹は3ヵ月連続して減少。

・木材チップの出荷及び在庫は、全品目で3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	28/3月	4月	5月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は、全品目で3ヵ月連続して横ばい。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・針葉樹は入荷減のため多少減産、広葉樹は入荷増加により出荷が増える見込み（東北）。
- ・ボード類用はリサイクルチップの需要が大きく、納入量アップを依頼されている。燃料用は安定した荷動き。リサイクルチップの受入れ止めが続いていたが、3月より正常に戻った（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・製紙会社にチップ受入れ抑制があるが、生産は横ばい。出荷は3月はやや減少、バイオマス用チップは安定。在庫横ばい、燃料用はやや減少（四国）。
- ・スギ、ヒノキは新年度から製紙用の生産・出荷が増加の見込み。5月は製紙会社の定期点検で出荷減。広葉樹は影響が小さい（九州）。

## (木材チップ価格)

- ・変化なし（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・しばらく変化なし（九州）。